PART3　也の読み方

三 「也」の読み方

文末＝上に**疑問・反語**を表す副詞があるかないかを確認。

① **疑問・反語**〜也。＝「**や**」「**か**」と読んで「**疑問・反語**」の意味を表す。

② ~~疑問・反語~~〜也。＝「**なり**」と読んで「**断定**」の意味を表す。

文中＝「**や**」と読んで「提示・強調」の意味を表す。

③ 〜也、〜　（読まないときもある）

④ 〜也〜　（ほとんど読まない）

問五　次の傍線部ａ・ｂの読みを、それぞれ記せ。

蓋(けだシ)是(こノ)国<u>也</u>(a)、地険ニシテ而民多(クち)レ知、其ノ主ハ俗主(ぞくしゅ)<u>也</u>(b)。

ａ＝

ｂ＝

問六　「始貨二爾魚一約二三十銭一也。」の読み方として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

ア　始め爾(なんぢ)に魚を貨(う)るも三十銭に約せんや。
イ　始め爾の魚を貨るに三十銭を約せんや。
ウ　始め爾に魚を貨るに三十銭を約するなり。
エ　始め爾に魚を貨らしむるに三十銭を約するか。
オ　始め爾の魚を貨らしむるも三十銭に約するなり。

第4講　PART3　確認問題

①「虎不知獣畏己而走也。」の返り点のつけ方とその読み方として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　虎 不レ知二獣 畏 己 而 走一也。　虎獣(とらじう)の畏れて己に走るを知らざるか。

イ　虎 不レ知二獣 畏 己 而 走一也。　虎獣を知らざるに己を畏れて走るなり。

ウ　虎 不レ知二獣 畏レ己 而 走一也。　虎獣の己を畏れて走るを知らざるか。

エ　虎 不レ知二獣 畏レ己 而 走一也。　虎獣の己を畏れて走るを知らざるなり。

オ　虎 不レ知二獣 畏レ己 而 走一也。　虎獣の己を畏れて走るを知らざるや。

②「不レ知レ命、無三以為二君子一也。」の現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　使命を自覚しなければ、君子となる資格はないのだろうか、いやあるはずだ。

イ　使命を自覚しなければ、君子となる資格はないのだろうか。

ウ　使命を自覚しなければ、君子となる資格はないのだ。

エ　使命を自覚しなければ、君子となる資格はないだろう。

オ　使命を自覚しなければ、君子となる資格はなかった。

③ 左の文は「故民之従レ之也軽。」の書き下し文である。[　]にあてはまる言葉として最も適当なものを、次の中から選べ。

「故に民の之に従ふ[　]軽し。」

ア かな　イ や　ウ か　エ なる　オ なり

④ 傍線部a・bの「也」を説明したものの組み合わせとして最も適当なものを、次の中から選べ。

「胡ハ兄弟之国[a]也。子言フハレ伐テトレ之ヲ何ゾ[b]也ト。」

ア a 断定 b 詠嘆　イ a 推量 b 打消　ウ a 詠嘆 b 疑問
エ a 断定 b 疑問　オ a 使役 b 打消

⑤ 「且今之黍稷也、非レ有下異二於向之黍稷一者上也。」の書き下し文として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア 且(か)つ今の黍稷(しよしよく)や、向(さき)の黍稷に異なる者有るに非ざるなり。
イ 且つ今の黍稷や、向には之(これ)の黍稷に異とする者有るに非ずや。
ウ 且つ今の之黍稷なり、向の黍稷に異なる者有るに非ずや。
エ 且つ今は之が黍稷なり、向の之の黍稷に異なる者有るに非ざるなり。
オ 且つ今は之黍稷ならんや、向は之黍稷なるに異なる者有るに非ずや。

第4講 PART3 解答

問五　a　や　b　なり

問六　ウ

第4講　PART3　確認問題　解答

〔解説〕

① 文末にある「也」は上に疑問・反語の副詞があるかないかを確認する。ここでは疑問・反語の副詞がないので「なり」と読む。よって、ア・ウ・オは不適。イは「なり」と読んでいるが、返り点の語順で書き下しができていない。よって、エが正解。

② 文末にある「也」は上に疑問・反語の副詞があるかないかを確認する。ここでは疑問・反語の副詞がないので「なり」と読み、「断定」の意味を表す。よって、ウが正解。

③ 文中にある「也」は「や」と読んで、「提示・強調」の意味を表す。よって、イが正解。

④ 文末にある「也」は上に疑問・反語の副詞があるかないかを確認する。aは疑問・反語の副詞がないので「なり」と読み、「断定」の意味を表す。bは疑問を表す副詞「何」があるので「や」と読み、疑問の意味を表す。この「何…也」は疑問形である。よって、エが正解。

⑤ 文中の「也」は「や」と読むので、ウとエは不適。文末の「也」は、上に疑問・反語の副詞がないので、この場合は「なり」である。よって、アが正解。

〔解答〕

① エ　② ウ　③ イ　④ エ　⑤ ア